

えびあん

立川と語ろう 立川に生きよう

March 2015

Écoutez Bien Vol.34 No.364

3

吹矢で元気、元気です!



表紙の人／立川で「えびあん」ホテル生まれ 紅林家四代(柴崎町)

ひじき

常備しておく、ちょっとしたアレンジでメインにも使える便利な食材です。
『ひじきの煮物』は懐かしいお袋の味として常に上位にランクイン。
古今東西、やっぱり美味しいものは美味しいんです。

調理指導：三上康子(三上鯉節店)



乾物は戻すのが面倒と思われがちですが、やってみると思ったより簡単にできてしまいます。今シリーズの初回は『ひじき』。よく魚屋さんなどに「生で食べられます」とか「サラダにも！」などと表示されている『ひじき』も、実は乾物。戻す手間を店舗でやってくれているというわけです。白いご飯にぴったりのおかずを、たまには手作りしませんか？

《ひじきの煮物》

★材料(ひじき50gに対しての量です)
ひじき…50g にんじん…50g
油揚げ…2枚 水…400ml
しょうゆ…大さじ5 砂糖…大さじ3
みりん…大さじ2 鰹厚削り…4～5枚



鰹厚削り

★作り方

- ① ひじきは水で戻して、水気をよく切り、長い場合は一口大に切ります。
- ② にんじんはひじきと長さ、太さを合わせます。油揚げの長さもひじきに合わせます。(芽ひじきの場合にんじんは3cm長さの細切り、油揚げは半分に切って7～8mm幅に切り熱湯をかけて油抜きをする)
- ③ 少量の油を鍋に入れ、ひじき、②のにんじん、油揚げの順に炒めます。
- ④ 全体に油がまわったら、水、鰹厚削り、調味料を加えます。
- ⑤ 蓋をして、弱火で20分ほど煮詰めて、ゆっくり味を含ませます。



《ひじきの煮物でホットサンド》

★材料

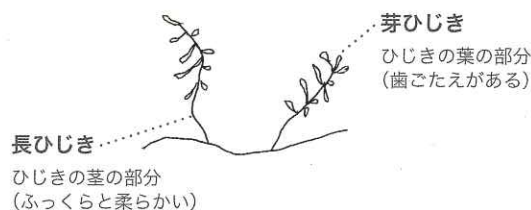
ひじきの煮物…約大さじ3 食パン(8枚切)…4枚
とろけるチーズ…約大さじ3 卵…1個 ベーコン…適宜

★作り方

- ① ベーコンは5mm幅に切り、食パンの耳は切っておく。
- ② ボールにひじきの煮物、とろけるチーズ、卵と①のベーコンを入れよく混ぜておく。
- ③ ホットサンドメーカーに薄くバターまたはマーガリン(分量外)を塗る。
- ④ ①の食パンに②の具材を大さじ2程度乗せて、もう1枚の食パンではさむ。
- ⑤ 3～4分焼いて、きれいな焼き色がついたら出来上がり。

注：ひじきの水分が多い場合は、水気を絞っておくとパンが水っぽくなりません。厚切りベーコンにすると、より食べ応えがです。

ひじきの部位



スタイリスト：Mimura Mie

「心」を伝える

「葬儀」は日本の文化——セレモア大竹専務に聞く

年間7000件の葬儀。2000を超える企業や団体との指定契約。

「ファミリーライフクラブ」の個人会員は21万人。

驚くべき数字がいくつも並ぶ企業。

どんな方がインタビューに応じてくださるのかと思ったら、笑顔のすてきな女性だった。

——昨年、御社の常務執行役員でいらっしやる朝長廣太郎さんの『終活エンディングセミナー』を聴講させていただきました。とても興味深い内容でした。

大竹 ありがとうございます。

——さすがに37年間お葬儀に携わってこられた方のお話はすごいですね。家族葬から会葬者4万人というお葬儀まで本当に幅広い経験をお持ちで、聴いておいてよかったです。

大竹 そうでしたか。でも、えくてびあんさんにお葬儀の話をしていいのですか？私も立川に嫁に来てずっと立川に住んでいますから、いなげさんとかでチョイスしてよく読んでいますよ。話題として、えくてびあんさんにはどうでしょう(笑)。

——ご愛読いただきありがとうございます。えくてびあんはお葬儀をととても大事なことでと思っています。

大竹 かつてはお葬儀というタブー視されていましたが、今は事前相談も毎日お受けしています。社会の変化に伴ってお葬儀のあり方も多様化しているのですが、なんでもいいわけではありません。お葬儀の大切さをセミナーや事前相談などで、現状はこうだけれども本来はこうですよというお伝え方をしています。

——お葬儀という最近では費用の面ばかりがクローズアップされて、「心」が置いていかれがちですね。

大竹 こんなお話を聞いたことがあるんです。外国人と日本人とでは、どちらが親族の死に直面して感情をあらわにするかと。日本人は涙もろいので日本人かなと思ったら、実

は外国人の方がお葬式で泣き叫ぶことが多いそうです。

——そうなんですか。

大竹 日本にはお葬儀という文化があります。亡くなった方の人生の最後を締めくくる儀式ですね。心を込めて2日間できちとお送りすることで、ご遺族の心の整理もついで、泣き叫ぶようなことは少ないようです。——セミナーでもうかがいました。お通夜の意味、お葬儀と告別式のこと、お葬儀の目的など。整理して話していただくとお葬儀の重要さがよくわかります。

大竹 それが日本の文化に根差したお葬儀なんです。お葬式にも1つひとつ意義がありますので、理解できるとその大切さが改めて感じて頂けると思います。お葬儀の大事な役割のひとつに遺族の心のケアがあります。亡くなった方を偲んで、心を込めてお送りすることで、心と心が繋がります。お葬儀後もお仏壇やお位牌を調べて供養する文化がありますからそこでも心と心が繋がって、いつも一緒にいるような、それがひとつのグリーフケアになって、大切な人を亡くしたんだけど、一方では「見ててね、私も元気でやっていくから」と次のステップにしっかり前進できる。——すばらしい文化ですね。でも、最近はお葬儀をしないこともあるそうですね。

大竹 ええ。極端な話ですが、親のご遺体をそのまま火葬してしまうことがあります。——直葬というそうですね。儀式もお経もなくいきなり火葬という、それは単なる焼却ですよ。形が無くなっちゃうだけに、取り返しがつかない。

大竹 そうですね。社会が殺伐としてきて、

親を親とも思わない、挙句の果ては親のご遺骨をどこかへ置いてきちゃうなんてこともあるでしょう。ですから仕事を通してお葬儀のことやお仏壇のお話をさせて頂かないといけないと思っています。「日本の文化」とか「心」というものに、今気づいて頂かないと伝わっていかない。今しかないと考えています。

私たちの世代は親から教えてもらいました。頂き物は仏様にお供えしてから自分たちが頂くとか。通信簿もそうでした。ご先祖様にまず見て頂く。でも、私たちの世代は夢中で働いてきてしまって、そういったことを子供に教えるゆとりがありませんでした。

——ええ。

大竹 おじいちゃん、おばあちゃんのいらっしゃる大家族で育った子どもは、まだ幸せです。でも核家族でご両親が共働きで、仏事にふれる機会の少ないご家庭では意識してそういう教育をしないと、気づいたら成人していて、何も知らないということがあると思います。お墓参りのあとの清々しい気持ちなども経験していないかもしれませんね。

——お墓のないお宅も多いですから。

大竹 私はお仏壇の販売が専門ですが、失礼ですが、お宅にお仏壇はおありですか？

——はい。小さくて白い仏壇ですけど。閉めちゃうと仏壇だとわからない(笑)。

大竹 ああ、よかった(笑)。そういうおしゃれな現代仏壇も弊社社長が最初に考案したのなんです。「仏壇ギャラリー」という店舗のネーミングもそうなんです。

——そうだったんですか！

大竹 住宅事情や生活スタイルも変化してきていますから、お客様のご要望に応じて時代

大竹 静江さん

セレモアホールディングス株式会社 常務取締役、株式会社セレモア 専務取締役、株式会社セレモア 仏壇販売 取締役社長。

所沢の呉服屋さんに生まれ、縁あって立川の写真館『銀鈴社』に嫁ぎ11人家族のお嫁さんに。写真館を閉じた後は大手ビールメーカーでその才能を発揮、マーケティングレディとして活躍していた。24年前からセレモア勤務。仏壇販売やシニアライフサポート事業、企業・団体への営業活動などで幅広く活躍中。

柏町にある立川総本店は明るく清廉なイメージで、創業者の心をしっかり身につけた大竹さんならではの店づくりだ。



を反映させないと、大事な心も伝わっていかなくなってしまいます。

——そうですね。今は和室のない間取りも多いそうですね。

大竹 お仏壇のあるお宅とないお宅とでは、育つお子さんの心が違うと聞いたことがあります。目には見えないけれど、情緒というものがあります。これが大切で、情緒を養っていくにはやはりおじいちゃん、おばあちゃんと暮らすことで、繋がりがわかるでしょう。亡くなった後もお仏壇にお線香あげたりして、語りかけることが自然にできると思うんです。それが「心」なんですよ。一緒に暮らすことが叶わない場合にはぜひ、お話の中でも「あなたが元気で毎日学校に通ったり、お友達と遊んだりできるのは、お父さん、お母さんがいて、10代遡ると直系だけでも1000人を超える繋がりがあからなのよ」と。子供に言ってもわからないかもしれないけれど、その繋がりがなかったら今の自分はいないわけですから。命とは自分だけのものではないと教えていただきたいと、この仕事を通して常に感じています。

——お位牌やお仏壇は本家や実家にあればいいと思っていらっしゃる方も多いけれど、ひとりひとりに親や先祖はいるわけですね。

大竹 そうなんです。ご家庭の事情は千差万別です。お住まいの状況も変化して、お仏壇もコンパクトになっていますし、いらぬというお宅もあります。お葬儀の形も変わりましたし、ご供養の認識も変わってきています。でも基は変わらない。ずっと同じだと思います。自分の基である親や先祖を大切にしたいと、それだけはブレないでいつも

お話させていただいています。お仏壇を置く方角とか場所を決めつけないで、どこだったら置けるでしょうね、どこだったら亡くなった方と会話ができるでしょうね、と。定年されて新築される方がお仏壇をお求め頂くことが多いのですが、先祖代々のお位牌だけはお作りになってお話をしています。

最近では本当にお身内だけのお葬儀が増えましたが、本来は、お葬儀は互助の精神で興きたものですから、お香典にも意味があります。文化の一環なんですよ。人生には歴史があって社会の中で生きてきたわけですから、いろいろな関わりを持ってこられたと思います。ご相談の時には、「亡くなられた方もきっとお世話になった方々に、感謝の思いを伝えたいと思っていらっしゃるでしょうから、親しい方と一緒に温かくお送りしましょうよ」とお話をしています。

——よくわかりました。ところで、今さらですが、セレモアさんって立川の会社ですよね？

大竹 はい。立川が創業の地です。どうして？——うーん、あまりにも有名な会社なので、本当に立川の会社？と思ってしまっ。どこか都内の会社だったかな？って。電車の中吊りとか『ぶらり途中下車の旅』のテレビCMってそうですね？「いいお葬儀だったね」という…。

大竹 ええ、そうですね(笑)。あれ、岡先生がいい味出して下さっていますよね。作曲家の岡千秋先生が辻社長*とお親しくいらして。

——辻社長は作詞家でもいらっしやるんですね。

大竹 辻社長の詩に岡先生が曲をつけて下さ

って。カラオケにも何曲も入っているんですよ。

今こうして葬儀社として誇りをもってお話させて頂けるようになったのも、辻社長のおかげだと思います。社長は若い時に創業されて、最初は花輪から家族経営で葬儀を始められたそうです。テレビCMにしても、百貨店のような商業施設への出店にしても、今は当たり前のように思えますが、最初は誰も相手にしてくれず苦勞されたそうです。すべて社長が切り開いてこられました。民間救急サービス(民間の患者移送サービス)も東京消防庁の認定第1号です。

——えくてびあんでは「おくりびと」の青木新門先生のインタビューをしたことがあります。

大竹 そうですか。青木先生と辻社長は民間救急を立ち上げる時に一緒に、お親しいそうですね。この仕事をしているとご縁を特に感じます。

——辻社長は時代を先に読んでニーズに応えるため、既成概念を壊して社会を変えてこられたんですね。「創作骨壺」などもそうですね。

大竹 はい。全国の窯元を歩かれたのですが、最初は作家さんが全然相手にしてくれなくて、制作してくれなかったそうです。そういう時代があって今があるんです。

お葬儀は究極のサービス業ですから、新しいこともとり入れていますけどどんなことにも必ず伝統的な文化に根差した「心」が伴っています。そこはブレない。——人の心 日本文化を守る——それがセレモアです。

*辻社長:セレモアホールディングス株式会社 代表取締役社長 辻正司氏

腹式呼吸で 健康増進!

誰でもできる楽しいスポーツ スポーツ吹矢

吹矢だから、筒と矢、それに的さえあればいい。
でも、たかが吹矢と侮るなかれ。
ベテランの矢は、時速130kmで飛び出し的を射る!

レディース大会があると聞いて行ってみた。
おもしろかった。やってみたら?と言うので、
やってみた。
もっとおもしろかった。
5本吹いたら、自分の癖も見えてきた。
まっすぐ吹いていると思っていたのに、
曲がっていたのは自分だった。

静かな基本動作に呼吸法と礼節が含まれている。
短時間の集中で自分と向き合うことになる。
ゆっくりと、すべての動作に魂を込める。
静かに、しかし一気に息を吐き切ると、
心の結果が的に表れる。



矢を筒に入れる



筒を両手で持ち上げ、下ろしながら腹式呼吸で呼吸を整える。



的を見て、鼻から息を吸いつつ、筒を体の近くで水平に持ち上げ、筒先が的に定まる時に息も吸い終わるようにして、しっかりと筒をくわえ一気に息を吐く。



矢は5本吹く。矢の当たった位置で採点される。



立川支部の皆さん 練成館にて

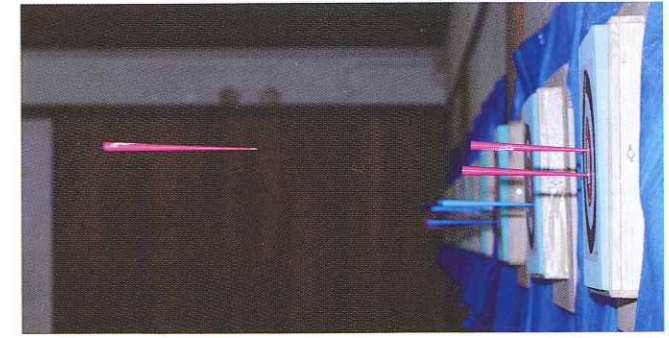


第4回 スポーツ吹矢 多摩の郷・やま吹杯にて (日野市民 ふれあいホール)



準備体操の様子 (日野市民ふれあいホールでの多摩の郷・やま吹杯)

東京都スポーツ吹矢協会 立川支部
毎週木曜日、午後3時から諏訪神社境内 練成館稽古場で練習しています。



矢は長さ20cm。先端に金属製の小さいボールがついたビニールフィルム製。軽くて本当に飛ぶのか?刺さるのか?と思ってしまうが、ご覧の通り。すごい!



吹いた後も、的の中心に意識を残し、息を整える。呼吸法と共に一連の所作をして、終了。始まりと終わりには礼をする。

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。今月は 柴崎町のお店です。

柴崎町

- (株)一心堂 527-3777
- すがの歯科 540-2675
- 中華 ハルピン 527-1809
- 紙匠 雅 548-1388
- あすなろクリニック 529-2756
- ソレル.Na 548-8788
- ピストロすぎ浦 525-9929
- 入船茶屋 524-6266
- カレー工場 Haiji ハイジ 548-0812
- チーズフォンデュと欧風料理 クワロ 528-2983
- 串揚割烹 トントン 524-4521
- Pasta Frolla 立川南口店 540-8033
- レンタルスペースキャリーカフェ 梨工房 843-7818
- パセリドゥーエ 525-8486
- 甘味処 石や 524-0862
- 不動産 コマツホーム 525-5811
- 芹沢ガラス店 522-3065
- かみゆい処 わ 522-8202
- ファッションハウス ホマレヤ 525-2788
- ヘアサロン オオヌキ 528-0809
- 中国四川料理 山城 512-8356
- 酒歩 たから 528-1510
- 服地・洋裁材料 藤レディース 528-5101
- 純中国料理 北京大飯店 522-6393
- 天婦羅・うなぎ 良銀 522-6702
- レンタルボックス きらら 522-3913
- 生活雑貨 EAST END 523-9636
- 特むし銘茶・海苔 菊川園 526-2035
- ジョイフルプラザ 0120-29-2775
- めん心 堤屋 525-6602
- hoccori*café 595-8379
- 立川わかば整骨院 526-8518
- (株)立川紙業 527-6111
- 中華小皿料理 得得屋 528-1060
- Fashion You Me 523-1640
- 手焼せんべい 雷神堂 521-5705
- 石原薬局 523-4067
- B級食堂 相模屋 525-9478
- ティーコジー 525-6366
- サイクルハウス 輪輪館 522-8100
- ひがしミート 522-6266
- (株)正盛堂 522-2328
- 小林歯科クリニック 527-8217
- ビューティーサロンウイスタリア 527-1116
- オリオン書房 サザン店 525-3111
- WISH BONE 527-7199
- 三船クリニック 523-6693
- 西武信用金庫 立川南口支店 529-1311
- たましん 南口支店 528-2211
- リオネットセンター立川 523-3321
- りそな銀行 立川支店 522-4161
- オリオン書房 アレア店 521-2211
- ほっとすべーす 中屋 522-2932
- 立川ワシントンホテル 548-4111
- Coffee Shop LARGO 525-6704
- パッケージプラザ カサイ 522-8601
- (株)けやき出版 525-9909
- 手づくり きょうざ工房 522-4770
- 喫茶 ギャラリー花 524-3668
- 髪職人 YOSHIKAWA 522-5593

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー! : 529ch

スカパー!で放送の常楽我浄はスマートフォンアプリ「ivy」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩 : 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

やっぱり年の初めは出初式

立川市消防出初式に参加すると、新しい年を迎えたいすがすがしい気持ちになります。最近なかなか『行進』そのものに出会うことがありません。出初式はこの『行進』から始まります。平成27年1月11日。青空が広がるサンサンロードに、立川消防少年団、立川市消防団、市民消防隊、立川市役所自衛消防隊の行進に続いて、機械部隊が入場します。わが街立川を守ってくれる皆さんです。心強いですね! 式典の目玉は一斉放水。サンサンロードから西側の国有地めがけて水を勢よく放ちます。この国有地に建物ができたら、どこに向けて放水するのでしょうか?なんてちょっと気になってしまいました。



期間限定のオープンです

立川ワシントンホテルのレストラン『カフェ・ド・パリ』では、期間限定ディナー企画を開催しています。“フレンチ・ストーリー”～その先のフランスへ～と題されたイベントの第一弾、今回は南仏 ミディ・ピレネーがテーマです。映像やBGMで演出された



オードブルからカスレ風自家製テリーヌ

店内。フランスワインとカジュアルフレンチが雰囲気と共に楽しめます。期間は2015年1月23日(金)～3月31日(火)までの水曜、木曜、金曜、18時から21時まで(L.O.は20時半)。2時間飲み放題+特製アミューズで2500円。お料理は別途ご注文になります。ワイン好き、フランス大好きな方ならぜひ覗いてみたい企画ですね!

おまわりさんはやっぱり強い!



剣道高次試合の様子



表彰式後の署長のご挨拶

1月6日(火)、冷たい雨が降る中、立川警察署の武道始式に行ってきました。市民が警察に期待する「安全・安心な街の実現」「日常生活の平穩」のために、三好一人立川警察署長は立川署としての取組と同時に、署員に向けて「正義の実現」をお話されました。「正義なき力は暴力である。正義の実現には力が必要で、警察官1人ひとりが強い体と心を鍛錬で養うように。続く柔道、合気道、剣道の試合と演武では、強いおまわりさんを再認識! 少年柔道や少年剣道の試合も力が入りました。私たち1人ひとりも立川市民である自覚を持って、良い街づくりに協力していきたいですね。式典が終わって外に出ると、すっかり空は晴れていました。



女性警察官が交通違反取り締まり中、公務執行妨害を受けた際の犯人制圧方法の様子

ホテルでサイエンスカフェ



小さなお子様も元気に手を挙げて質問していました

極地研の街中サイエンスカフェが定着してきました。花みどり文化センター、シネマ2に続き、1月17日(土)には南口のワシントンホテル カフェ・ド・パリで開催されました。講師はテレビでも大人気、先ごろ毎日出版文化賞も受賞された極地研 生物圏研究グループ助教の渡辺佑基先生。予約制の30席はほぼ満席。軽食とドリンクをいただきながら、マグロやペンギン、クジラ、アザラシの楽しい話を聴きました。巷ではなかなか手に入らないカレンダーのお土産付き! 「極地研は立川の宝ですね」「定期的に行われるのですか?」というお声も出て、立川ならではのすばらしい企画でした。

厚生労働大臣賞を受賞されました

大山自治会会長の佐藤良子さんが昨年11月に厚生労働大臣賞を受賞されました。内閣府の女性のチャレンジ賞、立川市長賞、都知事賞に次いで4回目の受賞です。今や街づくりのオーソリティとして日本全国から講演依頼があり、行っていないところは全都道府県で二か所だけ。外国からもお便りが届くそうです。大山自治会会長として現在15年目の任期を全う中。その間に街をつくり人を育ててきました。始めは苦勞もありました。人間関係のしがらみや約1500世帯の会長を女性がやるということへの反発など乗り越えて、顔が見えるガラス張りの活動は住民の意識を変えました。受賞はみんなのもの、私1人でやってきたわけではない。どんなことも情報として取り入れて、反発や誹謗こそが前進へのエネルギーになったとおっしゃっていました。



佐藤良子さん(大山自治会事務所に)

ダイヤモンド富士—ローソクです

東海製蠟の『ダイヤモンド富士』がお店に並んでいます。富士山の伏流水で作った蠟燭で、なめらかな肌質が特徴です。均等に灯っていくなんて、さすが日本のモノづくりはすごいです。でもちょっとよく見て下さい。立川から見慣れている富士山と形がちがうような…。この向きに置くと側火山の宝永山が見える静岡側の富士山になります。クルッと向きを変えれば、立川や山梨から見える富士山になりますよ。火を灯せば山頂が明々と、ダイヤモンド富士になるという仕掛け。ちょっと楽しくないですか?



立川から見えるダイヤモンド富士



チーム『塚一ズ』優勝!



市役所西側からスタートです

1月11日(日)駅伝日和の朝、立川市駅伝競走大会が開催されました。市役所をスタートし、昭和記念公園立川口、災害医療センター、東京地方裁判所を回って学術プラザまでゴールする、1人3.2km×6人の駅伝競走。一般の部、地区対抗の部、中学生の部が同時開催、2位に大きく差をつけて『塚一ズ』が優勝しました。同じ職場の方たちで構成されているチームだそうです。みなさん走り慣れている様子。いろいろな大会に参加されているのでしょうか。



塚一ズの皆さん

表紙の人

紅林美代さん、八重子さん、恵美さん、麗世さん

創業は昭和3年。下宿屋から旅館を経て区画整理を契機にビジネスホテルに姿を変えて、八重子さんのご主人太さんが三代目になります。時代時代いろいろなお客がお見えになりました。戦前には憲兵さんたち、東京オリンピックでは近代五種の合宿所、そして受験シーズンには多くの受験生がやってきます。時は移り街の姿は変わっていきませんが、今も昔も変わらないこと。それは命を預かる職業だというプロ意識です。女性でもひとりで安心して泊まって頂ける、家族経営だからこの細かな心遣い。当たり前のように、陰にある毎日の努力に頭が下がります。フロントにはお嬢さんと4代目になる修行中の息子さん。写真の麗世さんは美代さんの曾孫にあたります。継続って頼もしいですね!

かたこと

◆弥生3月を迎え、桜の開花時期が気になります。多摩地域に桜の名所は数あれど、えくてびあんはわが街立川の桜の開花を追って、姉妹サイトの多摩でばこネットで随時お知らせ致します。◆さて、お薦めの桜スポットはありますか? 根川緑道や玉川上水沿いなど、青空に映える淡いピンク色を見上げると、自然と笑顔に元気になる。そんな前向き気分になったことがあります。それは、桜が秘める不思議なチカラに触れたから、でしょうか。◆多摩都市モノレール「泉体育館駅」の眼下に、桜がトンネルをつくるように並ぶ通りがあります。この通り沿いには、立川六中と砂川高校が隣り合って建っています。桜のトンネルをぬけ学校に通う両校で、頼まれる才能を持った生徒さんが育まれています。◆昨年秋に行われた中学生の主張東京都大会で、都知事賞を受賞した六中の女子生徒は、続けて全国の主張大会へと出場。また砂川の男子生徒は、この3月に少林寺拳法の全国大会へ出場します。もしや、桜の秘めたるチカラに触れた?と頭をよぎるも、本人の努力以外にこの結果はないでしょう。えくてびあんスタッフ一同

3月1日、川内優輝さんが立川に!

最強市民ランナーといえば川内優輝さん。3月1日、立川シティハーフマラソンに一般参加されます。えくてびあんでは事前にお話をうかがってきました。『えくてびあん』を毎月読んで、立川にどんどん詳しくなっている川内さんですが、立川のコースを走るのは6年ぶり。昨年12月21日に行われた防府読売マラソン翌日の練習で負傷した足をまず治して、力ある学生たちと競うそうです。「間違いなく先頭集団にはいますので、その先どうなるか、です(笑)」と。楽しみです。川内さんのインタビュー、詳しくは多摩でばこネットをご覧ください。



川内優輝さん(2015年1月30日撮影(久喜市市民体育館で))

えくてびあん ⑨

3月号 第33巻 通巻364号

平成27年3月1日発行
発行 有限会社 えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
URL www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 株式会社 デックC.C.
印刷 三浦印刷株式会社



甦るあの頃 —— 小川 優さんの銀座通りジオラマから

②

富士銀行

高柳茂さん（富士見町）

銀座通りにあった高柳荒物店のご主人、高柳茂さん。初代は柴崎町のご出身で、茂さんが三代目になる日用品雑貨の卸問屋でした。卸は富士見町でやっていたそうです。ジオラマの小売店舗は茂さんが幼稚園時代に銀座通りの南側から北側へ移った店舗で、今は高柳ビルになり、息子さんが不動産業で4代目を継いでいます。旅行がご趣味で、旅行先の写真はたくさんお持ちだそうです。立川の写真となるとなかなかないのだとか。初代がお店を開いた頃には銀座通りに小川があって、馬車で買い物に来た方が馬に水を飲ませたのだそうです。銀行と言えば富士銀行。実はその名残りが今もあると高柳さん。銀行の前にあった鉄の棒が2本入る石の飾り。今、曙町の株式会社山一の前に並んでいます。鉄の棒はありませんかと教えてくださいました。あの辺り、戦時中は軍関係の官舎があって、その敷地内に航空神社がありました。谷文具屋さんの北側にいらした鈴木建具屋さんが管理していたと思うが、今はどうなっているのかな？とも。懐かしい方々のお名前がいくつも出て、話に花が咲きました。

